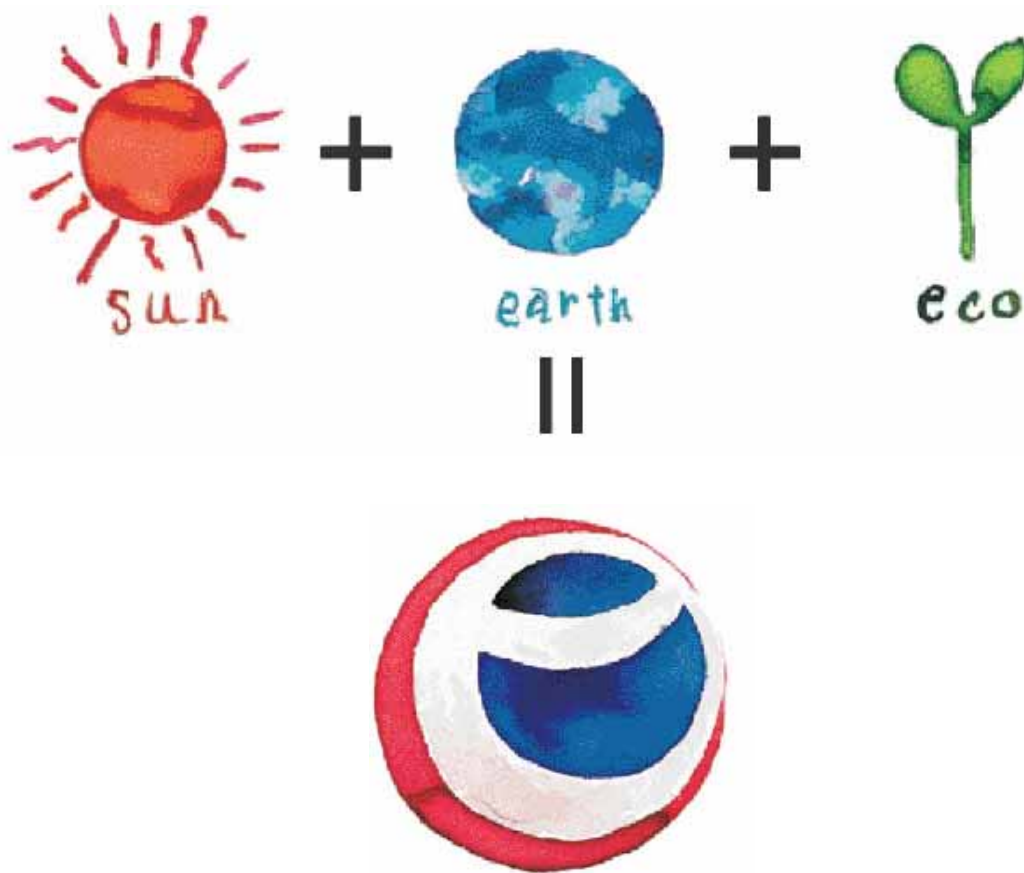


# 2006年3月期中間決算説明会



平成17年11月18日 於：経団連会館ルビールーム

## 2005年度中間期の決算説明

発表者 財務経理部長 夢野裕之

## 2005年度の見通し

発表者 代表取締役社長 山田清實

発表者

財務経理部長 夢野裕之

# 2005年度中間期連結決算概況

## 連結業績は増収、減益

### 連結業績

(単位：百万円)

	2005年3月期中間	2006年3月期中間	増減額	増減率
売上高	289,381	326,043	36,662	12.7%
営業利益	2,319	3,055	736	31.7%
経常利益	3,469	3,480	11	0.3%
当期純利益	2,110	1,509	601	28.5%

# 2005年度中間期連結業績

## 連結損益計算書（株東海除く）

（単位：百万円）

	2005年3月期中間			2006年3月期中間		
	実績	東海影響	東海除く	実績	増減額	増減率
売上高	289,381	9,945	279,436	326,043	46,607	16.7%
営業利益	2,319	119	2,438	3,055	617	25.3%
経常利益	3,469	747	2,722	3,480	758	27.8%
当期純利益	2,110	575	1,535	1,509	26	1.7%

### 【売上高】

原油価格の高騰に伴う販売単価の上昇により、前年同期比46,607百万円増収。

### 【営業利益】

適正な価格浸透により前年同期比617百万円の増益。

### 【経常利益】

営業利益の増益により前年同期比758百万円増益。

### 【当期純利益】

特別損失額393百万円を計上したため、前年同期比26百万円の減益。

# 2005年度中間期連結決算

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2005年3月期	2006年3月期中間	増減額
流動資産	120,784	100,939	19,845
固定資産	109,507	102,490	7,017
流動負債	117,299	94,034	23,265
固定負債	34,993	33,437	1,556
少数株主持分	5,109	727	4,382
資本	72,889	75,230	2,341
負債及び資本合計	230,292	203,430	26,862

## 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2005年3月期中間	2006年3月期中間	増減額
営業活動 C F	6,368	1,486	4,882
投資活動 C F	4,779	5,527	748
フリー C F	1,589	4,041	5,630
財務活動 C F	11,846	2,085	9,761

# 油種別販売数量

## 油種別販売数量（連結）

（単位：千KL、千トン）

油種	2005年3月期中間	2006年3月期中間	前期比(増減率)
ガソリン	1,464	1,419	3.1%
灯油	428	439	2.6%
軽油	1,224	1,223	0.1%
重油	808	735	9.0%
燃料油合計	3,924	3,816	2.8%
アスファルト	95	111	16.8%
LPガス	455	482	5.9%
総合計	4,474	4,409	1.5%

### 【ガソリン】

需給取引等の減少。

### 【重油】

燃料転換による減少。

### 【LPガス】

卸・小売の販路拡大による。

# セグメント別情報

(単位：百万円)

		産業マテリアル	カーライフ	ホームライフ (株東海除く)
売上高	2005年3月期中間	38,809	205,996	34,630
	2006年3月期中間	48,303	238,002	39,737
	増減額	9,494	32,006	5,107
	増減率	24.5%	15.5%	14.7%
営業利益	2005年3月期中間	495	2,468	801
	2006年3月期中間	1,018	3,740	5
	増減額	523	1,272	806
	増減率	105.7%	51.5%	

## 【産業マテリアル事業本部】

販売数量が減少するも、アスファルトの好調により増収、増益。

## 【カーライフ事業本部】

原油価格の高騰と、価格浸透により増収、増益。

## 【ホームライフ事業本部】

卸・小売の販路拡大により増収、LPガス輸入価格の継続的上昇による仕入れ価格の未転嫁により減益。



# 産業マテリアル事業

(単位：百万円)

	2005年3月期中間	2006年3月期中間	前 期 比	
	金 額	金 額	増 減 額	増 減 率
売 上 高	38,809	48,303	9,494	24.5%
営 業 利 益	495	1,018	523	105.7%

## 販売数量（連結）

(単位：千KL、千トン)

	2005/3中間	2006/3中間	前 期 比
	数 量	数 量	増 減 率
ガソリン	16.3	16.1	1.2%
灯 油	100.1	95.1	5.0%
軽 油	167.1	171.3	2.5%
重 油	564.7	496.4	12.1%
アスファルト	95.4	111.3	16.7%
L P ガ ス	52.7	63.7	20.9%

公共工事が減少する中、大型スポット工事や流通の構築によりアスファルトは好調。

原油の高騰により、産業用燃料油の需要家はますますLNG等へのエネルギー転換が顕著となり、厳しい環境が続いております。

# カーライフ事業

(単位：百万円)

	2005年3月期中間	2006年3月期中間	前期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	205,996	238,002	32,006	15.5%
営業利益	2,468	3,740	1,272	51.5%

## 販売数量（連結）

(単位：千KL、千トン)

	2005年 3月期中間	2006年 3月期中間	前期比
	数量	数量	増減率
ガソリン	1,447.3	1,403.3	3.0%
灯油	296.2	309.1	4.4%
軽油	1,055.8	1,050.2	0.5%
重油	238.8	233.8	2.1%

## 保有施設数

(単位：力所)

	2005年 3月期	2006年 3月期中間	前期末比
	給油所	2,148	2,146
(内、PB)	432	424	8
(内、セルフ)	225	273	48

適正な価格浸透に注力した結果、増収増益。  
需給取引等により販売数量が減少。

# ホームライフ事業（株東海除く）

（単位：百万円）

	2005年3月期中間	2006年3月期中間	前期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	34,630	39,737	5,107	14.7%
営業利益	801	5	806	

## 販売数量（連結）

（単位：千KL、千トン）

	2005年 3月期中間	2006年 3月期中間	前期比
	数量	数量	増減率
灯油	31.8	35.2	10.7%
LPガス	402.3	418.1	3.9%

## LPガス消費者軒数

（単位：軒）

	2005年 3月期	2006年 3月期中間	前期比
	消費者軒数	240,177	260,798

島根県の瀧川産業(株)より営業権を買収し、タキガワエネクス(株)を設立。  
LPガスの輸入価格の継続的上昇による仕入れ価格増の未転嫁により厳しい収益環境。

# 2006年3月期業績予想

## 連結業績予想

(単位：百万円)

	2005年3月期実績	2006年3月期	増減額	増減率
売上高	635,230	708,000	72,770	11.5%
営業利益	6,826	7,700	874	12.8%
経常利益	8,678	9,000	322	3.7%
当期純利益	4,083	5,000	9,083	

## 個別業績予想 (ご参考)

(単位：百万円)

	2005年3月期実績	2006年3月期	増減額	増減率
売上高	523,613	588,000	64,387	12.3%
営業利益	4,422	4,700	278	6.3%
経常利益	9,354	5,500	3,854	
当期純利益	7,206	3,300	3,906	

## 発表者

代表取締役社長 山田清實

## 継続的な原油・LPガス価格の高騰

### 石油流通業界

石油製品高騰の影響で消費者の買い控え等による販売量の伸びが鈍化  
産業用燃料油（A重油、LSA）の燃料転換が加速

### LPガス流通業界

エネルギー間の垣根を越えた競争の激化  
歴史的なC P 価格高騰により、価格転嫁が急務  
業界環境が大きく変化しており、近い将来業界再編が予想される  
核家族化、省エネによる単位消費量の低下

# 全社的取り組み

中期ビジョン「創生2008」達成に向け、徹底した効率化を図る

コア事業である石油・ガス事業の強化のために周辺事業の車関連事業、くらしの森事業の推進  
全社をあげてCSR活動への取り組み

中期ビジョン「創生2008」  
連結業績目標

～複合エネルギー企業を目指して～

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	ROA (総資本経常率)	総資産
2008年度目標	7,090	106	108	60	4.7%	2,280

# 産業マテリアル事業

多様化する顧客ニーズに対応出来るエネルギーサービスを提供

新規取引先の獲得による燃料油の拡販

LNG（液化天然ガス）の取引先開拓

アスファルトの拡販

需要家ニーズを捉えた、

ソリューション事業の拡大



## 業績予想

（単位：百万円）

	2006年3月期中間	2006年3月期下半期	2006年3月期通期
売上高	48,303	52,897	101,200
営業利益	1,018	382	1,400



# カーライフ事業

車関連の拠点からIT拠点を経て、社会貢献拠点へ

同業他社との業務提携による  
販売拠点の拡大  
カー・コレクションの積極展開  
カーエネクスイットモカードの推進  
災害対応型ステーションの展開



## 業績予想

(単位：百万円)

	2006年3月期中間	2006年3月期下半期	2006年3月期通期
売上高	238,002	275,998	514,000
営業利益	3,740	3,960	7,700

# ホームライフ事業

お客様に豊かなガスライフをご提供

エネルギー間の競争激化に勝ち残る体制  
の構築

同業他社との連携による地域戦略を拡大

輸入価格上昇分の転嫁とローコスト経営  
の追求

顧客満足度UPのため、「くらしの森」推進



業績予想

(単位：百万円)

	2006年3月期中間	2006年3月期下半期	2006年3月期通期
売上高	39,737	53,063	92,800
営業利益	5	2,305	2,300

# コーポレートガバナンス・CSRへの取り組み

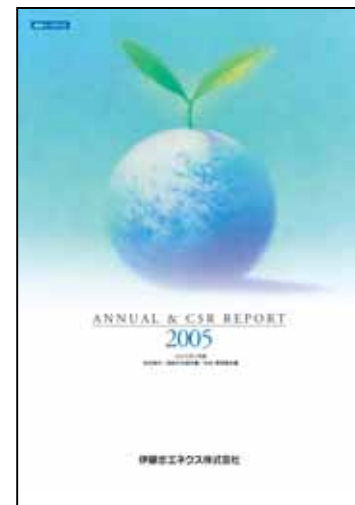
「行動規範」「グループ行動宣言」「環境方針」に基づき、  
コーポレート・ガバナンス体制を強化

## リスク管理体制

保安　　CSR委員会  
情報セキュリティ委員会  
情報開示審議会　　環境管理体制等の強化。

## SRIインデックスへの組み入れ

CSR活動の評価を得て、9月よりモーニングスター  
SRIインデックスへの採用が決定。

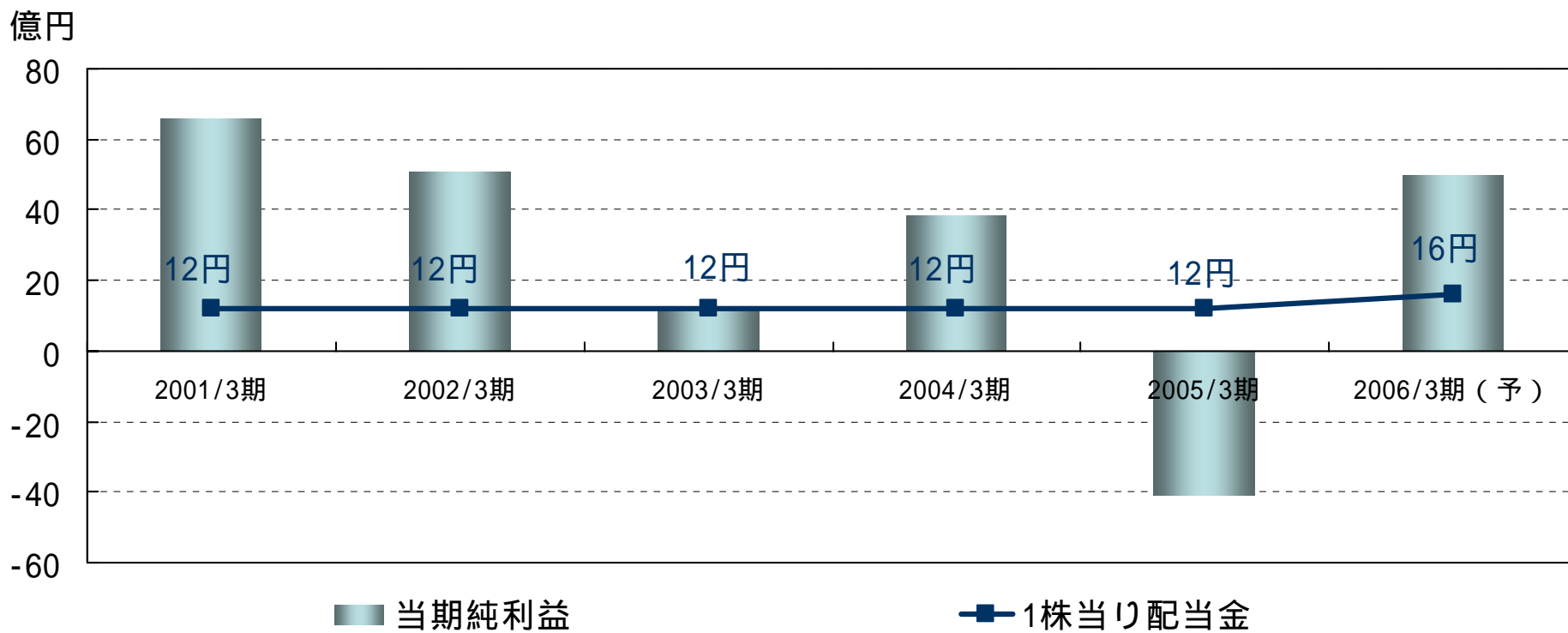


ANNUAL & CSR REPORT2005  
(連結年次報告書・CSR、環境レポート・  
会社案内の融合版)

# 配当方針

経営環境の変化に対応しつつ、事業基盤の強化および、  
将来の事業戦略を勘案し、安定した配当を継続。

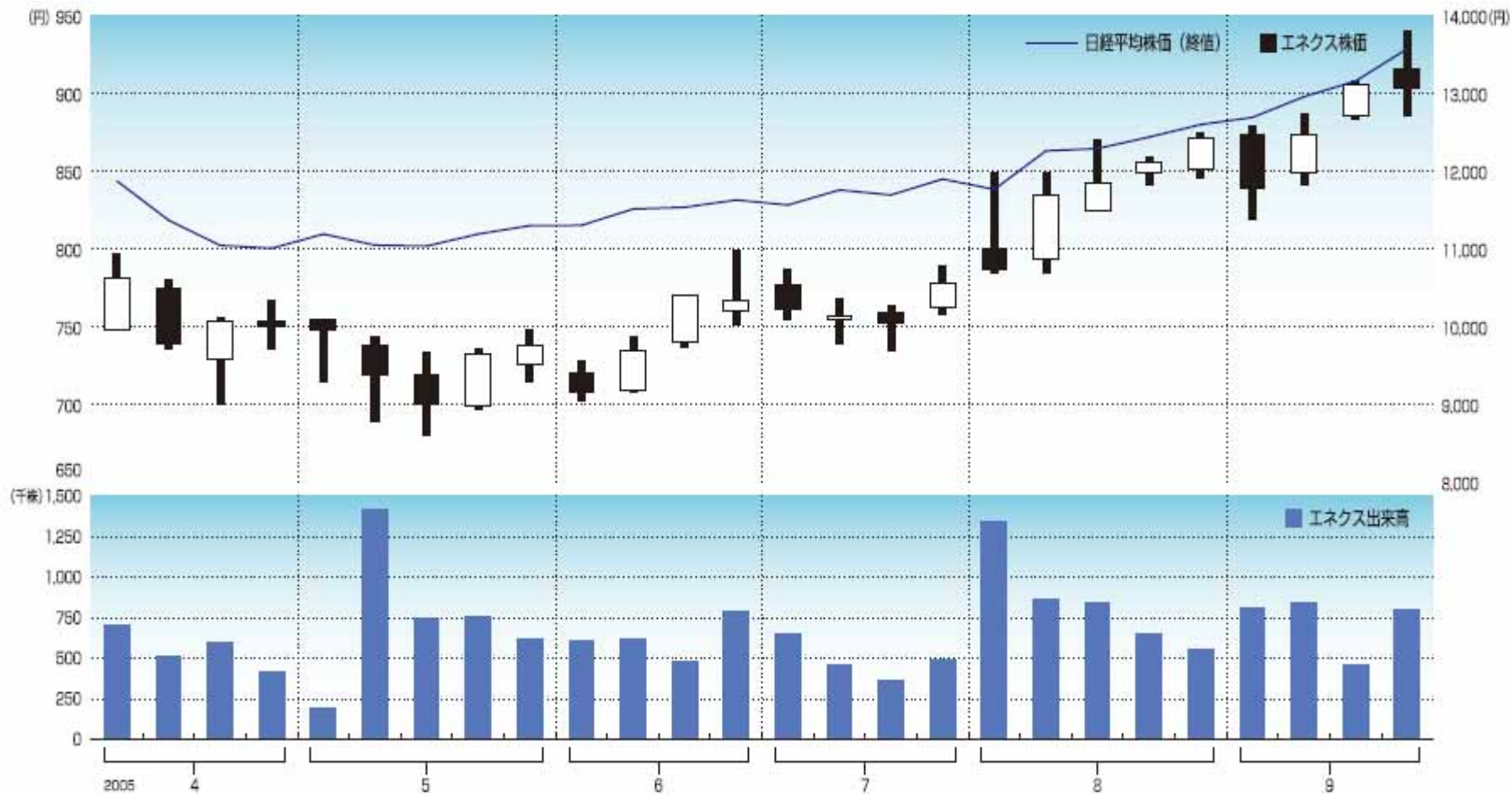
2005年度の間配当より、6円から8円に増配を決定。



# 株価の推移

## エネクス株価と日経平均株価の推移および出来高

2005年4月～9月



# ご注意

当資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

投資を行う際には、必ず当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。また、内容につきましては細心の注意を払ってはおりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績等に関する見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。

従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承下さい。

# 問合せ先

今後、当社に関するご質問、お問合せ等がございましたら、  
下記の担当までご連絡ください。

伊藤忠エネクス株式会社  
IR広報・CSR室 遠藤 / 高橋 / 秋山  
FAX 03-5436-8235